

平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月13日

上場会社名 株式会社MORESCO

上場取引所 東

コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中野 正徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 竹内 隆

TEL 078-303-9017

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	9,186		339		401		242	
21年2月期第3四半期	11,032	7.8	462	27.2	589	13.1	338	16.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年2月期第3四半期	31.30	
21年2月期第3四半期	42.99	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
22年2月期第3四半期	11,765		5,272		43.9	669.32
21年2月期	9,848		5,170		51.5	657.48

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 5,166百万円 21年2月期 5,074百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年2月期				20.00	20.00
22年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年2月期末1株当たり配当金には、創立50周年記念配当5円00銭が含まれております。

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	12,760	6.6	440	49.4	500	25.0	300	62.4	38.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	8,018,000株	21年2月期	8,018,000株
期末自己株式数	22年2月期第3四半期	300,240株	21年2月期	300,160株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	7,717,830株	21年2月期第3四半期	7,872,269株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予測数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、5ページ[定性的情報・財務諸表等] 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号) 附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(参考) 個別業績予想

平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日~平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	11,160	5.3	260	78.3	330	103.3	320	661.7	41	46

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予測数値と異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(2009年3月1日~2009年11月30日)におけるわが国経済は、昨年より続く景気の悪化に持ち直しの動きが見られるものの、設備投資や個人消費は依然として回復の足取りが重く、そのペースは緩やかなものとなりました。

このような経営環境の中、当社グループの国内売上高は、3月に底打ちし4月から回復基調にあります。第3四半期までの累計では未だ前年同期を下回る結果となりました。一方、原材料調達面では、価格は前年同期に比較して低水準で推移し、かつ安定的な調達が可能となりました。

また海外売上高(海外子会社の累計期間は2009年1月1日~2009年9月30日)は、第1四半期に世界経済の急速な冷え込みの影響をまともに受けましたが、その後需要先での在庫投資の回復や中国ユーザーの生産の拡大等により比較的順調な回復が続きました。

当社グループ各社は、これらの状況に対応し、合理化投資の推進に加え徹底した経費削減に努めました。その結果、第3四半期連結累計期間の連結売上高は9,186百万円(前年同期比16.7%減)、経常利益401百万円(前年同期比32.0%減)、四半期純利益242百万円(前年同期比28.6%減)となりました。

(特殊潤滑油部門の概況)

特殊潤滑油部門は、自動車産業、電子機器産業等で需要が緩やかに回復していることから、売上高は増加基調に転じておりますが、累計では前年同期を上回るまでには至りませんでした。その内の海外売上高は、中国、インドネシアでは比較的順調に回復しておりますが、タイ、台湾では回復に遅れがみられました。

尚、9月1日をもって(株)花野より譲渡を受けたダイカスト離形剤等の事業については、順調に移管が進み売上に貢献いたしました。

(売上高2,887百万円、前年同期比18.3%減)

(合成潤滑油部門の概況)

高温用合成潤滑油は、グリース基油の売上が世界各国の自動車生産の持ち直しにより急速に回復しておりますが、累計では前年同期比18.7%減となりました。また、ハードディスク表面潤滑剤は、ハードディスクドライブの生産が回復に向かっているものの、ディスクメーカーでの潤滑剤の在庫調整による上期の極端な売上減を取り返すまでには至らず、前年同期比47.4%減の売上高となりました。

(売上高605百万円、前年同期比24.7%減)

(素材部門の概況)

流動パラフィン、リチウムイオン電池のセパレータ生産向けおよびポリスチレン向け等が順調に回復に向いましたが、累計の売上高は前年同期を下回る結果に止まりました。

石油スルホネートは、関連する自動車、鉄鋼産業の生産増にともない回復の兆しがみられましたが、輸出については低調に推移いたしました。

(売上高2,284百万円、前年同期比20.6%減)

(ホットメルト接着剤部門の概況)

主力である大人用紙おむつなどの衛生材向けが引き続き好調に推移し、前年同期を上回る実績を上げることが出来ました。新規分野では、断熱材、建材用などの売上高は依然として前年水準を下回っておりますが、粘着用については捕虫剤用途が堅調に推移する等好不調織り交ざった動きとなりました。

(売上高2,612百万円、前年同期比3.9%増)

(その他の化学品事業および賃貸ビル部門の概況)

・関連会社およびその他部門

(株)マツケンの廃水処理関連の売上高は、ユーザー各社の設備投資抑制により厳しい環境が続いており、(株)モレスコテクノの分析試験サービスも自動車関連業界からの受託試験の減少を主因に、売上高は前年を下回っています。

(売上高753百万円、前年同期比40.2%減)

・賃貸ビル事業

事務所用テナントビル「モレスコ本町ビル」全体を、不動産業者に一棟貸し(サブリース)する形態で運営いたしており、安定した売上を計上しています。

(売上高47百万円、前年同期比増減なし)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,917百万円増加し、11,765百万円となりました。主な要因は、売上高の回復に伴い、受取手形及び売掛金が688百万円増加したこと、機械装置およびのれんの取得等により固定資産が974百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,814百万円増加し、6,493百万円となりました。主な要因は、短期借入金733百万円、長期借入金418百万円増加したことによります。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて102百万円増加し、5,272百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて182百万円増加し、331百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは565百万円の収入となりました。これは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費および仕入債務の増加等による収入が、売上債権の増加、長期未払金の減少等による支出を上回ったことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,374百万円の支出となりました。これは主には有形固定資産の取得および事業譲受による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは987百万円の収入となりました。これは主には短期借入金および長期借入金の増加によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループ製品の主要な需要先である自動車、鉄鋼、電子機器産業におきまして、製品需要が緩やかに回復し、売上高では、ほぼ前回発表の予想通りとなる見込みであります。利益面では、生産性の向上や歩留まり改善による原価低減の効果に加え、原材料価格が前年同期と比較し低水準で推移したことにより、前回の予想を上回る見込みとなりました。以上の理由により、連結、個別とも、業績予想数値を修正いたします。

(注意事項)

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。従いまして、実際の数値と異なる結果になる可能性があります。

4. その他

四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

たな卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。なお、同基準の適用に伴い、従来営業外費用に計上しておりましたたな卸資産評価損は、第1四半期連結会計期間より、売上原価として処理する方法に変更しております。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益は30百万円減少し、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ21百万円減少しております。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	380,953	198,906
受取手形及び売掛金	3,339,784	2,652,057
商品及び製品	1,252,959	1,308,154
原材料及び貯蔵品	530,057	432,119
その他	325,454	301,998
貸倒引当金	18,476	24,860
流動資産合計	5,810,731	4,868,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	964,573	1,007,754
機械装置及び運搬具(純額)	1,058,640	777,745
土地	1,870,795	1,869,453
その他(純額)	231,577	316,584
有形固定資産合計	4,125,585	3,971,536
無形固定資産		
のれん	957,052	-
その他	53,986	56,869
無形固定資産合計	1,011,038	56,869
投資その他の資産	817,739	951,654
固定資産合計	5,954,362	4,980,058
資産合計	11,765,092	9,848,432

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,642,859	2,149,519
短期借入金	1,219,960	487,440
未払法人税等	117,948	15,996
賞与引当金	403,443	228,128
その他	505,096	433,745
流動負債合計	4,889,306	3,314,829
固定負債		
長期借入金	455,050	37,500
長期未払金	311,645	424,013
退職給付引当金	789,984	853,400
その他	47,097	48,916
固定負債合計	1,603,777	1,363,829
負債合計	6,493,082	4,678,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,003	1,310,003
資本剰余金	1,097,898	1,097,898
利益剰余金	3,024,197	2,936,998
自己株式	187,049	187,009
株主資本合計	5,245,050	5,157,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,009	190
為替換算調整勘定	75,416	83,720
評価・換算差額等合計	79,424	83,530
少数株主持分	106,384	95,413
純資産合計	5,272,010	5,169,774
負債純資産合計	11,765,092	9,848,432

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
売上高	9,185,641
売上原価	6,332,784
売上総利益	2,852,857
販売費及び一般管理費	2,513,977
営業利益	338,880
営業外収益	
受取利息	1,753
受取配当金	12,027
持分法による投資利益	35,392
その他	54,483
営業外収益合計	103,655
営業外費用	
支払利息	12,944
為替差損	22,426
その他	6,526
営業外費用合計	41,896
経常利益	400,639
特別利益	
貸倒引当金戻入額	6,388
特別利益合計	6,388
税金等調整前四半期純利益	407,027
法人税、住民税及び事業税	152,318
法人税等調整額	853
法人税等合計	151,464
少数株主利益	14,007
四半期純利益	241,556

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
売上高	3,706,843
売上原価	2,467,313
売上総利益	1,239,530
販売費及び一般管理費	884,983
営業利益	354,547
営業外収益	
受取利息	1,449
受取配当金	7
持分法による投資利益	12,786
その他	10,645
営業外収益合計	24,887
営業外費用	
支払利息	6,791
為替差損	16,058
その他	1,321
営業外費用合計	24,169
経常利益	355,265
特別利益	
貸倒引当金戻入額	576
特別利益合計	576
税金等調整前四半期純利益	355,841
法人税、住民税及び事業税	137,617
法人税等調整額	18,873
法人税等合計	118,745
少数株主利益	5,402
四半期純利益	231,694

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	407,027
減価償却費	376,614
持分法による投資損益(は益)	35,392
退職給付引当金の増減額(は減少)	63,416
賞与引当金の増減額(は減少)	175,365
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,384
受取利息及び受取配当金	13,780
支払利息	12,944
固定資産除却損	1,610
売上債権の増減額(は増加)	691,143
たな卸資産の増減額(は増加)	37,646
仕入債務の増減額(は減少)	537,637
長期未払金の増減額(は減少)	115,106
その他	63,913
小計	484,416
利息及び配当金の受取額	49,395
利息の支払額	9,627
法人税等の支払額	60,984
法人税等の還付額	101,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	375,146
無形固定資産の取得による支出	10,601
事業譲受による支出	1,006,440
貸付金の回収による収入	2,970
その他	15,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,374,167
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	650,000
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	99,930
配当金の支払額	153,807
少数株主への配当金の支払額	5,788
その他	3,786
財務活動によるキャッシュ・フロー	986,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,406
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	182,046
現金及び現金同等物の期首残高	148,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	330,953

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成21年3月1日～11月30日)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
	金額(千円)
売上高	11,031,534
売上原価	7,816,157
売上総利益	3,215,377
販売費及び一般管理費	2,752,934
営業利益	462,442
営業外収益	181,791
営業外費用	54,841
経常利益	589,392
特別損失	71,389
税金等調整前四半期純利益	518,003
法人税、住民税及び事業税	200,891
法人税等調整額	53,214
少数株主利益	31,886
四半期純利益	338,440

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
前第3四半期連結累計期間(平成21年3月1日～11月30日)

	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	518,003
減価償却費	307,015
持分法による投資損益(は益)	72,901
売上債権の増減額(は増加)	508,374
たな卸資産の増減額(は増加)	489,467
仕入債務の増減額(は減少)	489,102
その他	174,238
小計	417,616
法人税等の支払額	301,926
その他	32,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	254,296
無形固定資産の取得による支出	5,803
その他	33,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	293,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:)	370,000
長期借入金の返済による支出	94,060
自己株式の取得による支出	22,695
配当金の支払額	118,722
その他	12,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,264
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	32,668
現金及び現金同等物の期首残高	246,560
新規連結に伴う現金及び現金同等物の期首 残高の増加額	8,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	222,212